



うやまう
敬

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

第39回朝霞市民まつり「彩夏祭」を皆様のご協力のお陰をもちまして3年ぶりに開催することができました。熱中症対策に加えて感染症対策を取りながらの運営は踊り子をはじめ実行委員会やご来場者の方にもご苦勞をおかけしましたが、踊り子のはじける笑顔や大きな拍手を送る観客の皆さんの姿を目にすることができたことに大変感謝しております。皆さん、ありがとうございました。

さて、まだまだ暑い日が続きますが、朝夕の涼やかな風に秋へのうつろいを感じられるようになってきました。今年は芸術の秋を彩る催しとして、丸沼芸術の森のご協力をいただき、市制施行55周年を記念した「丸沼芸術の森コレクション アンドリュー・ワイエス水彩・素描展—アルヴァロの世界—」を博物館で開催します。アンドリュー・ワイエスはアメリカを代表する国民的画

家の1人で、身近な風景やそこに暮らす親しい人々を描いた詩情あふれる画風が印象的です。オルソン家シリーズなどの水彩画34点に加え、ワイエスと丸沼芸術の森との交流の品なども展示されますので、ワイエスの人柄も感じられるこの機会に、ぜひご鑑賞ください。開催期間は10月8日(土)から30日(日)までで、感染症対策のため、土・日曜日、祝日は事前予約制での入場となりますので、詳しくは博物館（☎469-2285）まで。

ところで、「朝霞」の地名は昭和7年に誕生して90年が経ち、今年で卒寿を迎えました。同じくご長寿となられた皆さんをお祝いする会を9月19日(月)の敬老の日に、ゆめぱれす（市民会館）で行います。これまでの長きにわたって社会を支えてこられたことへの感謝をお伝えし、さらなる長寿を目指していただくための活力を得ていただきます。会場にお招きする対象は、市内在住で今年度に77歳・80歳・88歳・90歳・99歳・100歳になる方で、すでに案内状を郵送させていただきました。当日お招きできない方やお越しだけできない方にも、インターネットでの生放送、10月1日(土)から31日(月)まではYouTubeや老人福祉センターでの上映で演芸などの様子をご覧くださいので、ご高齢の方のいらっしゃるご家族の方には、ぜひ視聴のお手伝いをお願いします。

では、また。

災害時のペットの避難

問／環境推進課 ☎463-1504



災害時の避難は、ペットと一緒に避難すること（同行避難）が基本です。市では避難所でのペットの受け入れについて、次のとおり推進しています。

- 原則、ペットは屋外となります。
- 雨天等にはペット専用の屋内スペースを利用できますが、飼育ケージ・キャリー・カゴなどに入っている小型の動物であることが条件です。

なお、**避難所にペット用の備品はありません。**飼い主が食料等を用意し、世話を行いましょう。

避難方法を検討しましょう！

ペットが慣れている親戚や知人の家等、避難所以外の選択が可能か検討してみましょう。ペットや飼い主にとって、避難所の過密状態を防げるなどのメリットが考えられます。

日頃からしつけをしよう！

避難所の限られたスペースで、飼い主・ペット・他の避難者すべてのストレスを減らすためには、日頃のしつけや準備が大きなカギとなります。

飼い主は、ペットが嫌われないようにマナーを守りましょう。

- ケージに慣れる
- 鑑札・迷子札、マイクロチップの装着
- 社会性を身につける
- 決められた場所で排せつができる
- 各種ワクチンや寄生虫の予防・駆除



なぜ「ペットも避難」なのか？

東日本大震災では、家に残したペットの救出など、その対応に多大な労力がかけられました。

また、ペットが理由で避難しないことは、自分の安全を脅かすことにつながります。万が一の災害時、ともに安全に避難するためにも、日頃からの心構えと備えが大切です。

ひとの推移

人口 14万4,192人（-334人） 男 7万2,717人（+74人） 女 7万1,475人（-408人）
世帯数 6万9,162世帯（-313世帯）
令和4年8月1日現在（ ）内は前月比